



各高の開拓者たち ～活躍する各高卒業生～

第13号 平成30年10月15日(月)

★★平成10年度卒業生 橋本篤典さん(京都外国語大学卒)です。★★

私は平成10年度卒業生の橋本篤典です。現在、各務原高校の北にあるテクノプラザで株式会社和興という会社の役員をしています。戦時中飛行艇の操縦士だった私の祖父が、生かされた命を世のため人のために捧げたいという思いで立ち上げた会社だと聞いています。

職場のこと

私の会社では航空機、鉄道車両の部品を作っています。

航空機は世界中で飛びまわっている旅客機や、各務原でも飛んでいる自衛隊機の板金部品の加工、ドクターヘリにも使われるヘリコプターのフレームという屋根に取り付く部品の組み立てなどを、鉄道車両は新幹線の屋根の部品や、床の下に取り付くダクト、機関車の下部覆い（車で言うとバンパーに相当）などを製造しています。

小さな部品が多くこれが本当に航空機や鉄道車両の部品なの？と言いたくなりますが、従業員一人ひとりが航空機の飛行安全、鉄道車両の運行安全を意識しながら仕事をしています。特に航空機は空を飛んでいますので、トラブルが起これると重大な事故につながる恐れがあります。ですから飛行や整備はもちろん、製造においても非常に厳しい規格やルールが要求され、それは私の会社での作業においても例外なく求められます。その厳しい品質要求をクリアしない限りたとえ指先サイズの小さな部品でも製造できないのです。

先に申しましたように私はこの会社の役員をやっています。“若手経営者”などとチャホヤされるうちは良いのですが、会社経営とはつまり会社における最終責任が自分にあるということで、これはもの凄いプレッシャーです。得体の知れない恐怖のようなものが常にあるのですが、従業員やまわりの協力者、お客さんに支えられながらなんとかやっています。チームワークと信頼関係の大切さを実感する日々です。

また、この立場になってよくわかったのは会社の運営には何かとお金がかかるということです。お金に関すること、税に関することを勉強しておくときっと役に立つと思います。

高校時代のこと

私はどちらかといえば勉強が得意なほうではなかったので授業についていくのもなかなか大変で、英単語など詰め込んで覚える勉強は特に苦手でした。しかし今思えばもっと詰め込んでおけば良かったと後悔することもあります。英単語など、覚える他に学習する術など無いのですから。今思えば体力的にも、脳も、余裕があるうちに色々やっておくべきでした。

その代わりにと言ってはなんですが、写真に熱中していて現像するために生物室の横にあった暗室に籠りきりでした。それはそれで幸せな高校生活だったと思います。

進学先でのこと

私が進学したのは京都外国語大学で、ポルトガル語を専攻しました。ポルトガル語でなければならぬ理由は特に無かったのですが、英語以外の言語を学んでみたかったこと、地理が好きで地図を眺めては旅をすることを夢見ていましたので、語学を通して世界を見たいという動機だったかと思います。

語学そのものは独学でもできますが、京都外国語大学を選んで良かったのは語学の先にあるものを自由に見つけ学べたことです。大学でも相変わらず写真部で暗室に籠っていましたが、、、。

今に至るまで

学生時代は写真の他に、旅ばかりしていました。実は37歳になった今でも旅をし続けており、もはやライフワークとなっています。リュックサックを背負って安宿を渡り歩き、47都道府県と世界100カ国くらいを旅しました。シリアやイエメンなど、今となっては内戦状態で行くことが出来ない国、ユーゴスラビアなど消滅してしまった国、コソボや東ティモールといった新しい国、北キプロス・トルコ共和国や沿ドニエストル・モルドバ共和国といった“未承認国家”まで、マニアックだと言われますが色々旅しました。

旅をすると世界にどんな文化や考え方があるのかを知り、その多様性や歴史に触れることで、いまここにいる自分と向き合うことができます。また旅は、手頃な値段で一流のものに触れられる点も良いところです。ピラミッド、パルミラ、ペルセポリス、ペトラ、各地の博物館など、世界史の資料集に載ってたあれこれの本物をこの目で見てきました。大袈裟かもしれませんが、旅は人生を豊かにしてくれます。

お伝えしたいこと

語学に写真に旅に、好きなように生きてきた自分が偉そうなことは言えませんが、私が学校や旅から学んだことは「考えること」だと思います。

私はいま、学校で学んできたこととは全く関係の無いようなことを仕事にしてい

ますが、筋道を立てて考えることはどんな仕事でも必要とされる能力です。自分で考えることができないと、自分の人生を他人任せにしたり振ったサイコロの出目で決めてしまうことになります。

お金は使えば減りますが、身に

つけた「考える力」は使っても減りません。自分の頭で考えられる力を身に付けて豊かな人生を送っていただきたいと思います。

写真：ジンバブエ共和国で散髪

